

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成 19 年 6 月 14 日 (2007.6.14)

【公開番号】特開 2004-321818 (P2004-321818A)  
【公開日】平成 16 年 11 月 18 日 (2004.11.18)  
【年通号数】公開・登録公報 2004-045  
【出願番号】特願 2004-133902 (P2004-133902)  
【国際特許分類】

**A 6 1 B 17/34 (2006.01)**

【F I】  
A 6 1 B 17/34

【手続補正書】  
【提出日】平成 19 年 4 月 26 日 (2007.4.26)

【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

組織に対して手技を行う装置において、  
本体であって、前記本体を貫通して延びるルーメン、および前記本体の遠位端部に位置する開口端部、を有する、本体、  
を備え、  
前記本体は、  
( i ) 前記遠位端部に設けられていて、前記組織上の損傷パターンを突き止める、少なくとも 1 つの電極、および  
( i i ) 前記遠位端部に設けられていて、前記本体の前記遠位端部のロケーションを表す信号を発生する、位置センサ、  
をさらに有する、  
装置。

【請求項 2】  
請求項 1 に記載の装置において、  
前記本体の前記遠位端部のロケーションを表す前記信号は、ロケーション座標を決定するために用いられる、装置。

【請求項 3】  
請求項 2 に記載の装置において、  
前記ロケーション座標は、位置座標を含む、装置。

【請求項 4】  
請求項 3 に記載の装置において、  
前記ロケーション座標は、向き座標を更に含む、装置。

【請求項 5】  
請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の装置において、  
前記少なくとも 1 つの電極は、先端部電極を含む、装置。

【請求項 6】  
請求項 5 に記載の装置において、  
前記先端部電極は、円周方向先端部電極である、装置。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の装置において、  
前記少なくとも 1 つの電極は、複数の電極セグメントを含む、装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の装置において、  
前記複数の電極セグメントは、2 つの電極セグメントを含む、装置。

【請求項 9】

請求項 7 に記載の装置において、  
前記複数の電極セグメントは、4 つの電極セグメントを含む、装置。

【請求項 10】

請求項 2 ～ 9 のいずれかに記載の装置において、  
前記少なくとも 1 つの電極は、第 1 の電極、および第 2 の電極を含む、装置。